

当協会では社団法人として第3回目の通常総会が平成16年5月21日(金)那覇市の沖縄ハーバービューホテルで開催された。

安谷屋副会長の開会宣言に続き宮良会長の挨拶があり、我協会は法人化以来2年目を迎えることになりました。今後とも公益法人として地域社会に貢献できるよう御協力をお願いしたい旨挨拶があり、又本日の総会における議案審議がスムーズ進行できるよう依頼があった。続いて定足数の確認が行われ、正会員43名中35名(委任状を含む)の出席があり定款26条により総会が有効に成立する旨報告があった。

議長は伊波盛康氏が選出され、議長により議事録署名人として天願清政氏、赤嶺建範氏を指名し議事審議に入った。それぞれの議案説明後、質疑応答がありすべて可決承認された。

第1号議案、平成15年度事業報告の件

第2号議案平成15年度収支決算報告の件

第3号議案・各議案の字句等の訂正に関する措置を会長に委任する件

※ 3月総会で承認された議案

第1号議案 平成16、17年度役員改選の件

第2号議案、平成16年度事業計画の件

第3号議案 平成16年度予算の件



平成16年度事業計画

1. 建築設備設計及び工事監理業務の向上発展に関する調査研究

(1) 公共工事等の「電気設備」「機械設備」工事の特記仕様書を作成し、一般に提供する。

(2) 関連法規の調査研究

建築基準法、消防法、電気事業法、ガス事業法等建築に関する法律等について協会の技術委員会で調査研究を進める。

(3) 設備設計に関する積算ソフトを作成、設計の合理化に努める。

2. 建築設備設計及び工事監理業務に関する講習会、講演会及び見学会の開催。

(1) 高齢者向け設備施設についての講習会の実施

(2) 施設見学会を一般県民、会員等を対象に実施し、設備に対する認識を深める。

3. 建築設備に関する相談及び苦情処理

(1) 協会事務局に無料相談所を常設し、県民の建築設備に対する相談及び苦情について処理する。又、県の主催する住宅展等にも積極的に参加し県民の建築設備に関する疑問、苦情を聴き処理する。

(2) 社会福祉施設等公共機関の設備の無料点検を実施し、現状設備についてトラブル発生原因の究明に協力する。

(3) 住宅設計展等に参加設備の無料相談コーナーを設け、県民に設備に関する情報を提供する。

4. 建築設備等の知識に関する普及・啓発及び情報の提供

- (1) 県民に対する普及啓発事業一環として、協会誌「建築設備」設計と監理を発行し広く県民に情報を提供する。
発行部数1,000部とし、県民、協力会員、全国協会員等へ配布。
- (2) 広報活動としてホームページを充実させ、一般県民等に情報の提供を行う。

5. 設備設計に関する人材の育成

- (1) 建築設備設計に関し、人材育成のため公的機関へ協会から講師を派遣する。
- (2) 建築設備士の受験準備講習会の実施

6. 前各号に掲げるものの他、目的を達成する為に必要な事業

- (1) 行政官庁か夏の公文書に関する指導業務及び法改正等を各会員へ通知する。
- (2) 社会福祉事業に対し積極的に協力推進する。
- (3) 公的機関へ委員を派遣する。
 - (財) 電気技術者試験センター
 - (財) 電気技術講習センター
 - 「電気工事技術委員会」
 - (財) 沖縄電気保安協会
 - (社) 日本設備設計事務所協会